



奥物部美術館

奥物部美術館では、香北町猪野々出身のイラストレーター、西本百合の個展を開催します。西本百合は、昭和50年に猪野々に生まれ、平成6年に大阪芸術大学短期大学を卒業後、平成20年頃から大阪のギャラリーを中心に定期的に作品を発表しています。今回展示する

奥物部美術館 西本百合展 — 空想庭園 —

2月9日(火)～3月21日(月・祝)

作品のテーマは『空想庭園』。主に鉛筆を用いて描かれたモノトーンの画面には、どこか愁いを帯びた表情の人物や古い遺跡のような建物、植物や動物などで緻密に描かれ、美しく幻想的な世界を作り出しています。それらのモチーフは、生まれ育った猪野々で見つけた風景から着想を得ることが多いそうです。

西本は「どこかで見たとような、どこでもない場所、空想庭園。見た人それぞれに自由に空想してもらいたい」との思いを込めて描きました。私の絵があなたの物語の種となりますように」と語っています。また、観る人のイメージが固まらないよう、それぞれの作品にタイトルを付けることをあえてし



▲秘密基地／西本百合

吉井勇記念館だより

吉井勇顕彰短歌大会 講演会

第13回吉井勇顕彰短歌大会表彰式の終了後に、講演会を開催します。

講師は今大会選者の井上佳香さん(高知新聞歌壇選者・高知アララギ選者)

佳香さんです。大会への作品投稿の有無にかかわらず、どなたでも参加できます。

※入場無料

【日時】3月12日(土)

13時～ 表彰式

14時～ 講演会

【場所】猪野々集会所(吉

井勇記念館隣)
【講師】井上佳香さん(高知新聞歌壇選者・高知アララギ選者)
【送迎バス】※要予約
香美市役所本庁舎前より、JRバス美良布駅経由で、無料送迎バスを運行します。行き 12時発(JRバス美良布駅12時20分) 帰り 15時40分発(JRバス美良布駅経由本庁舎前)

吉井勇作品紹介 (冬)

冬晴れの空いや高く澄みわたり

いま比叡が嶺に雷雲もなし

わが歌は朝ゆふべに比叡が嶺に

向いて吐ける息に似しもの

【解説】吉井勇が晩年を過ごした京都での住まいからは比叡山が見え、勇はその情景を詠んだ作品を多く残しています。歌集『遠天』の中で、勇は「人生流離の中で、勇は「人生流離の
いやはての安住の地ここぞと思へば、朝夕仰ぎ見る比叡が嶺にも多少の感慨を覚えざらんや」と語っており、流離・隠棲の時代を終えた勇の心情がうかがえます。

■問い合わせ先 吉井勇記念館 ☎58・2220

香美市立美術館

香美市立美術館では、写実絵画の力と題して、高知県内で写実絵画に取り組んでいる5人の作家(佐竹茂・島村悠・濱崎秀嗣・平田慎一・森本智香男)の作品と当館の収蔵作品を展示します。また、この展覧会に合わせて、募集していた香美市民の方々の写実絵画作品も展示します。

描いている絵です。今回展示する収蔵作品は、戦前の手結の風景を描いた楠永直枝や壺を描くことで有名な中澤竹太郎の作品など、多様でバラエティーに富んだものとなっています。現実の一部を切り取るようにして描かれた写実絵画ですが、写真とは異なり、ありのままを描くにはとても時間が掛かります。じっくりと描かれた対象物には、注がれたまなざしや費やされた時間の分だけ、作者の考えや気持ちが入められています。描かれたものを通

して作者の心の中をのぞいているような気持ちになるのではないのでしょうか。絵と向き合い、作者と対話するような気持ちで鑑賞してみてください。そこには作者が作り上げた世界が広がっているはずです。現実の何気ないものが特別な光を放つ、奥深い写実絵画の魅力を、ぜひ多くの方に味わっていただきたいと思えます。寒さの中にも、心が和む豊かな時間を、香美市立美術館で楽しまれてはいかがでしょうか。(館長・都築房子)

写実絵画の力

2月6日(土)～3月13日(日)

オープニングセレモニー

2月6日(土) 14時～

館長または学芸員による作品解説

会期中 毎週日曜日 14時～



▲HANDS・818／谷岡久

香美市民憲章 —平成24年4月1日制定—

前文 私たちの香美市は、美しく、豊かな自然に育まれています。先人が築き上げた尊い文化や伝統を受け継ぎ、人々が愛と勇気を心に持ち、誰もが幸せを感じられるまちを目指し、ここに市民憲章を定めます。

- 本文
- 1、豊かな自然を守り、美しいふるさとを未来に届けましょう。
 - 1、互いに思いやり、ささえあう、心安らぐまちにしましょう。
 - 1、歴史に学び、伝統を守り、高め、文化の香りあふれるまちにしましょう。
 - 1、子どもたちの笑い声は宝物、みんなで見守り育てましょう。
 - 1、感謝の気持ちを大切に、元気で働き、仲よく住みよいまちにしましょう。



©香美市立美術館
香美市イメージキャラクター